

NHK総合「その時歴史が動いた」第243回

新聞誕生～幕末・ジョセフ彦の挑戦～ 回(06/02/01)

<出演者>松平定知アナウンサー、石川好（いしかわよしみ）さん（作家・評論家）

<番組概要>その時：元治元年（1864年）6月28日

出来事：日本で初めて民間の新聞が発行される

幕末、日本初となる新聞を発行し、庶民の近代化に貢献した人物、ジョセフ彦。アメリカ国籍の日本人である。播州の漁師の家に生まれた彦は、13歳の時、時化（しげ）で遭難。52日間太平洋を漂流後、アメリカ船籍に救助される。異国で教育を受け、9年後領事館の人間として再び祖国の地を踏んだ彦は、日米の格差に愕然。日本の近代化には、幕府役人だけではなく、庶民一人一人の意識改革が必要と、日本初の新聞の発行に挑み始める。しかし、その道のりは困難を極めた。

民衆に時代の変化を伝え、自らの力で国を動かすことも出来ると説いたジョセフ彦。番組では彦の生涯を追いながら、幕末維新に新聞が果たした役割、ジャーナリズムの原点とは何かを描く。

番組の内容について

「その時」について 慶応元年という説もあります。これは現存する新聞紙が慶応元年からのものであるため、それが根拠になっています。しかし、ジョセフ彦はその自伝に元治元年という記録を残しているため、今回番組ではそれをもとに元治元年説をとりました。

新聞の発行部数について 主要4紙（朝日、読売、毎日、産経）に加え、地方紙、日経、専門紙などの総発行部数は五千万部。

ジョセフ彦の住まいについて 日米和親条約によって外国人が日本国内に入ることになりましたが、居留地より外に出るには、幕府の許可が必要でした。「居留地」という言葉は、日米修好通商条約の際から使われるようになりました。彦の住まいは横浜居留地141番地。現在の中華街にあたります。彦の住まい跡には「新聞発祥の父」という碑が建っています。

リンカーンとジョセフ彦の関係について 彦は南北戦争が開戦した1861年にリンカーンと会見しています。南北戦争の新聞記事はアメリカ滞在時に目にしていました。ゲティスバーグの演説については、日本で手に入れたアメリカの新聞で読んだものと思われま

岸田吟香、本間潜蔵について 岸田吟香は、新聞記者の第一号と言われています。彦に協力した後、東京日日新聞（現在の毎日新聞）の記者となりました。ちなみに画家の岸田劉生は、吟香の息子です。本間潜蔵は、彦に協力したあと、ドイツやイギリスに留学。帰国後は外交官として活躍しました。

洋書調所について 江戸幕府が設けていた、外国の書籍や新聞、文書を翻訳していた部署。元々は蕃所調所（ばんしょしらべしょ）といい、後に洋書調所という名前に変わりました。

ジョセフ彦の残した言葉の引用について 彼が残した自伝 *NARRATIVE OF A JAPANESE* と『漂流記』、さらにアメリカの新聞に載せられたジョセフ彦についての記事などから引用。現在、ジョセフ彦の自伝は絶版となっていますが、図書館にはある可能性があります。

伊藤博文、木戸孝允との出会いについて 長崎で貿易の仕事をした彦のもとを訪ねていたという記録が残っています。それ以降も伊藤博文とはつきあいが深く、頻繁に会合していました。

横浜毎日新聞について 現在の毎日新聞とは関係がありません。これは横浜のみで発行されていた新聞で、日刊新聞として日本で初めて作られました。

ジョセフ彦のその後について 長崎から東京に戻り、当時の大蔵省でも働いていました。結婚しましたが子供がいなかったため、子孫はいません。

番組中に登場した資料について

- ・『ジョセフ彦写真（リンカーンに会った頃の彦、晩年の彦）』
Joseph Heco Papers, Special Collections Research Center, Syracuse University Library
- ・『新聞誌及び海外新聞』羽島知之氏
- ・『漂流記挿絵』播磨町郷土資料館
- ・『リンカーン大統領、ブキャナン大統領』オリオンプレス
- ・『南北戦争写真』コーピス ジャパン
- ・ *New York Times, Le Temps, Manchester, Guardians, Frankfurter Zeitung*
東京大学情報学環附属社会情報研究資料センター
- ・『モニター内錦絵（難儀鳥及び人情事件）東京大学大学院情報学環
- ・『居留地錦絵、ペリー瓦版』神奈川県立歴史博物館
- ・『岸田吟香写真』東京大学法学部附属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫
- ・『ペリー写真』米海軍歴史センター（U.S. NAVAL HISTORICAL CENTER）
- ・『サンフランシスコ写真』Library of Congress
- ・『ヒュースケン襲撃図、ヒュースケン死体写真』Netherlands Maritime Museum Amsterdam
- ・『日米和親条約原本』アメリカ国立公文書館
- ・『横濱毎日新聞第1号』国立国会図書館

参考文献

※絶版となったものもあります。出版社などにご確認ください。

- ・『ジョセフ彦海外新聞』早稲田大学図書館資料叢刊2 早稲田大学出版
- ・『アメリカ彦蔵自伝1,2』中川努、山口修 訳 平凡社
- ・『ジョセフ彦』近盛晴嘉 著 日本ブリタニカ
- ・『人物日本新聞史』近盛晴嘉 著 新人物往来社
- ・『横浜から新聞を創った人々』山室清 著 神奈川新聞社
- ・『新聞と民衆』山本武利 著 紀伊国屋書店
- ・『アメリカ彦蔵』吉村昭 著 新潮文庫
- ・『漂流記』ジョセフ彦 著